

## 4-①. 大阪NPOプラザ(ONP)運営事業

— 総合的なNPO支援機能の充実と安定運営を目指す

第1期の5年間を経、2007年4月よりONP管理運営「第2期」のステージが始まった。

第2期3年目は、①ONPカフェの実施、②ONPとしての「NPO支援機能」のあり方検討、③多機能ブースの利用率の安定化とONPサポートプログラムの円滑な運営、④情報交流スペースの資料充実とONPカフェとの連携、⑤サービス内容の見直し・向上のためのスキルアップと、料金改定等の検討、ONP財政の安定、の5つのアクションプランを掲げ、事業推進を実施した。

### 1. 大阪NPOプラザを構成する入居、ブース利用団体

1階NPO多機能ブーススペースは、2009年度に新たに6団体が利用を開始した。また、「新拠点が見つかった」「ブース利用期限を迎えた」などの理由で、8団体がブースを退出した。ブース利用希望は比較的好調だが、年度末にかけて空きブースが出てきた。

2階NPO支援フロアは、団体の入れ替わりはなかった。

#### 【NPO支援フロア入居団体】全7団体

100号室	(社福)大阪ボランティア協会
201号室	(特活)大阪NPOセンター
203号室	(特活)ちゃいるどネット大阪
204号室	(特活)福祉活動と福祉教育の推進協会あすなる
205号室	(特活)日本病院ボランティア協会
206号室	(特活)シニア自然大学校 ※2009年10月に「シニア自然大学」より名称変更
207号室	(特活)関西こども文化協会

#### 【NPO多機能ブーススペース利用団体】M：24団体、L：3団体（入替あり）

101号室	NPO支援ブース	(特活)キャンピズ
102号室	ソフト活用ブース	ピア・ハートひまわり
103号室	ハード活用ブース	(特活)チャイルド・リソース・センター
104号室	ソフト活用ブース	(特活)福祉サービス評価WACCH
105号室	ソフト活用ブース	ベーチェット病友の会大阪府支部
106号室	ハード活用ブース	(特活)国際友隣協会[~2009年12月]
	NPOトライアルブース	(特活)遺族支え愛ネット[2010年1月~]
107号室	ハード活用ブース	(特活)地球環境大学
108号室	ソフト活用ブース	発達障害をもつ大人の会
109号室	ソフト活用ブース	(特活)関西心理相談員会[~2009年8月]
	NPOトライアルブース	関西音声サポート[2009年9月~]
110号室	ソフト活用ブース	(特活)地域情報化推進機構
111号室	ハード活用ブース	(特活)大阪交通事故被害者救済センター
112号室	NPOトライアルブース	(特活)日本アルクス自然学校[~2009年12月]
	NPO支援ブース	(特活)NPO政策研究所[2010年1月~]
113号室	ソフト活用ブース	創作サポートセンター
114号室	ソフト活用ブース	(特活)親子法改正研究会[~2010年3月]
115号室	NPOトライアルブース	(特活)ゆめくじら[~2010年1月]
116号室	ソフト活用ブース	(特活)スマートらいふネット
117号室	ソフト活用ブース	(特活)GIS総合研究所
118号室	ソフト活用ブース	患者の権利オンブズマン関西
119号室	ソフト活用ブース	(特活)グリーンコンシューマー大阪ネットワーク[~2009年7月]
	ソフト活用ブース	(特活)みどり大阪[2009年8月~]

120号室	ソフト活用ブース	園芸療法研究会西日本
121号室	ハード活用ブース NPOトライアルブース	(特活)キャリアスイッチ[~2010年1月] (特活)国際文化財研究センター[2010年2月~]
122号室	ハード活用ブース	(特活)障害者の自立支援を考える会
123号室	ハード活用ブース	(特活)地球コード研究会[~2010年3月]
124号室	NPOトライアルブース NPOトライアルブース	(特活)みずみらい大阪[~2009年9月] (特活)消費者相談センター[2010年1月~]
131号室	ソフト活用ブース	(特活)国際子ども権利センター大阪事務所
132号室	ソフト活用ブース	(特活)NICE日本国際ワークキャンプセンター
133号室	ソフト活用ブース	(特活)流通動学研究所

## 2. 大阪NPOプラザ(ONP)で実施された様々な動き

NPO支援の拠点として2009年度に実施した取り組みは次の通りである。

### (1) ONPの自治的運営に関わる取り組み（ONP運営協議会）

ONPの運営を入居・利用団体とともに考える場として「ONP運営協議会」を開催した。

主な議題は、経営状況／ゴミの分別について／2009年度アクションプラン／ONP評価シート（アンケート）結果の報告／避難訓練の実施／駐車場の利用／ONPに関するルール変更について など

○第20回 開催日：2009年 4月21日 参加：21人（18団体）

○第21回 開催日：2009年12月 9日 参加：24人（16団体）

※ 第21回運営協議会の終了後、大掃除と交流会を開催。団体間の交流の場とした。

※ ONP消防訓練を福島消防署と入居利用団体の協力を得て、2010年3月10日に実施した。

### (2) ONP評価研究委員会

NPO支援機能をもった団体の選定・評価機関として2007年度より新たに設置。2009年度は「ラウンドテーブル」として、NPO支援フロア入居団体とともに、各団体の取り組みや進捗などを共有した。

○委員：近畿大学 吉田忠彦、(特活)関西国際交流団体協議会 高羽淳一、  
(特活)市民活動フォーラムみのお 須貝昭子、(社福)大阪ボランティア協会 永井美佳

○第6回 開催日：2009年 4月 7日

### (3) ONPインキュベーション研究会

NPO多機能ブースのソフト活用ブース団体の審査・評価機関として2007年度より新たに設置。「ONPサポートプログラム」によるサポートのケース検討など運営支援や事業進捗ヒヤリングでのアドバイスをを行った。

○アドバイザー：(特活)市民が支える市民活動ネットワーク滋賀 阿部圭宏  
とよなかインキュベーションセンター 奥田三枝子  
(社福)大阪ボランティア協会 永井美佳

○第8回 開催日：2009年 6月 3日 内容：サポーター会議（サポーター引き継ぎ）

○第9回 開催日：2009年 9月29日 内容：ケース検討会、2年度目団体選考

○第10回 開催日：2010年 2月25日 内容：事業進捗ヒヤリング

### 【ONPサポートプログラム】

NPO多機能ブースのソフト活用ブース団体に、NPO支援機能をもつ団体から選出されたサポーターを担当として配置し、事業や運営面で必要なアドバイスや支援メニューの紹介、必要な社会資源とのコーディネートなどを行うことで団体運営を側面から応援するプログラムとして、2007年度から開始した。

2009年度は8人のサポーターがソフト活用ブース13団体のサポートを行った。

号数	団体名	サポーター名
104号	(特活)福祉サービス評価WACCH	堀野 亘求 (特活) 大阪NPOセンター
105号	ベアレット病友の会大阪府支部	江渕 桂子 (社福) 大阪ボランティア協会
110号	(特活)地域情報化推進機構	岡村こず恵 (社福) 大阪ボランティア協会
113号	創作サポートセンター	長井美知夫 (特活) シニア自然大学校
114号	(特活)親子法改正研究会	江渕 桂子 (社福) 大阪ボランティア協会
116号	(特活)スマートらいふネット	柳瀬真佐子 (特活) 関西こども文化協会
117号	(特活)GIS総合研究所	江渕 桂子 (社福) 大阪ボランティア協会
118号	患者の権利オンブズマン関西	白井 恭子 (社福) 大阪ボランティア協会
119号	(特活)みどり大阪	長井美知夫 (特活) シニア自然大学校
120号	園芸療法研究会西日本	長井美知夫 (特活) シニア自然大学校
131号	(特活)国際子ども権利センター大阪事務所	江渕 桂子 (社福) 大阪ボランティア協会
132号	(特活)NICE日本国際ワークキャンプセンター	西川 正人 (社福) キャンピズ
133号	(特活)流通動学研究所	奈良 雅美 (社福) 大阪ボランティア協会

### 3. 大阪NPOプラザ(ONP)の全体的利用状況

#### (1) NPO多機能ブーススペース

NPO多機能ブーススペースでは、独立した事務所機能が必要なNPOに貸ブースを提供。2009年3月末での利用数は、Mブース23団体、Lブース3団体で、1ブース空きがあった。また、ブースの種別は、NPO支援ブース2団体、ソフト活用ブース15団体、ハード活用ブース5団体、トライアルブース4団体となっている。

ブース各月利用団体数状況（のべ利用日数は2,739日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用団体数	27	27	27	27	27	27	26	26	26	27	26	26
内、退出数	0	0	0	1	1	1	0	0	2	2	0	0
内、新規利用数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	1	2
空き数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1

#### (2) NPO支援フロア

NPO支援や連携促進を進めるNPO支援機能を持った7団体が入居。各団体での事業を進めるとともに、ONP運営に関しては、ONPサポートプログラムなどについて協力して取り組んだ。

#### (3) 情報交流スペース、NPOワークステーションなどの利用状況

市民が気軽に立寄り、情報を得られることもONPの重要な機能の一つである。ONPにはNPOに関するイベント情報やニュースレターを入手にできる「情報交流スペース」、03年度に開設した「ボランティア・市民活動ライブラリー」、それに大阪府内のNPO法人関係資料公開サービスがある。それぞれの利用件数は、以下の通りである。

- ・大阪府内の特定非営利活動法人資料閲覧件数 年間3件（昨年4件）
- ・ボランティア・市民活動ライブラリー利用件数 年間7件（昨年6件）

なお、情報交流スペースに届いた広報依頼件数など詳細は第1章の「広報依頼」でも報告している。また法人資料は「大阪NPO情報ネット」（2006年2月公開）の開設により、ONPに来館できなくてもインターネットで閲覧できるようになっている。

また、ONPでは交流事業の一環として情報交流スペースの活性化、およびONP利用者の交流を目的に「ONPカフェ」を開催している。



「ONPカフェ」の様子

2009年度は11回開催し、利用者は380人であった。カフェを支えるボランティアも増え、同時にONP入居利用団体の中から取り組みに参加する者も出てきている。

今後は、利用者の声を起点に頻度を上げて月3回カフェを開催し、ONPでの新たな関係づくりに取り組んでいきたい。

加えて、NPOワークステーションでは、印刷機（2台）や紙折機（2台）、利用登録団体向けに貸ロッカーと貸レターケースの提供も行っている。

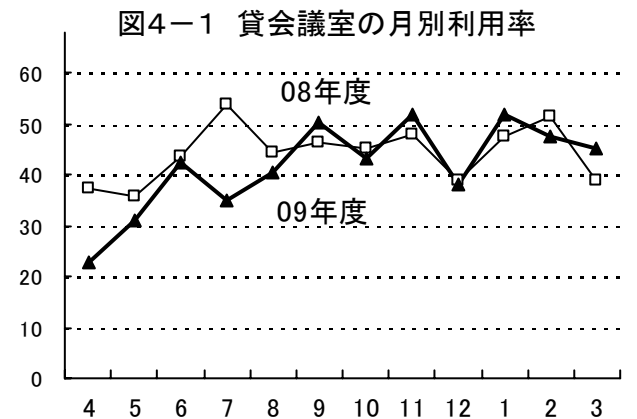
- ・印刷機利用回数 937件（昨年879件）
- ・貸ロッカー 45件（昨年 46件）
- ・貸レターケース 8件（昨年 8件）

（4）ONP利用登録団体

2009年度の新規登録団体は33団体であった。

（5）貸会議室（図4-1）

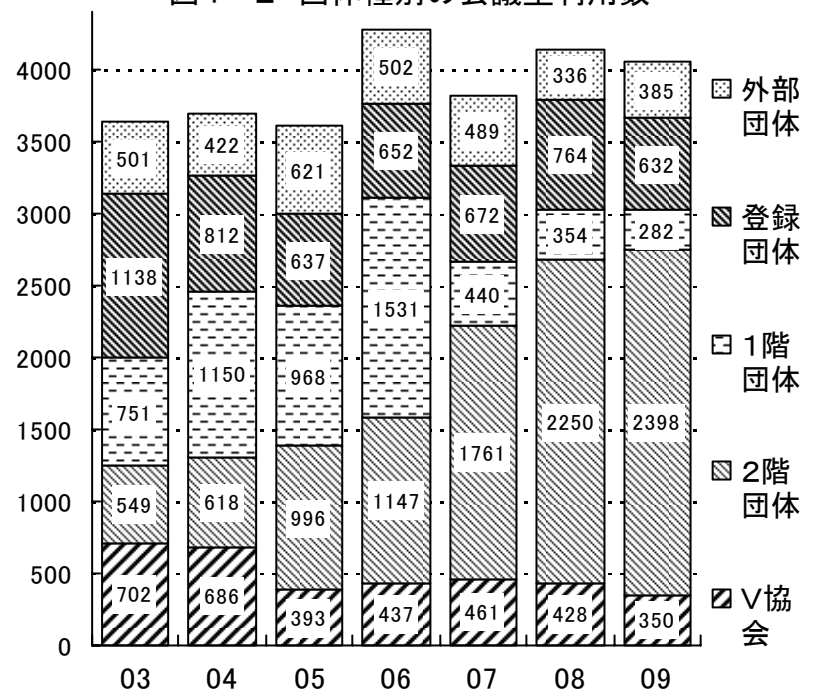
貸会議室貸出はNPO支援メニューの一つであるとともに、大阪NPOプラザの自主財源の一つでもある。インフルエンザの影響により、利用率の年間平均は41.7%と昨年度(昨年44.3%)を2.6%下回る結果となった。



団体種別利用数（図4-2）

2009年度も支援フロアやブース利用団体の利用が多く、両者で全利用件数の66%を占めた。また、外部団体の利用は全体の10%に満たないが、利用料金が登録団体や入居利用団体より割高であるため、貴重な収入源となっている。

図4-2 団体種別の会議室利用数



4. 大阪NPOプラザの経営状況

第2期ONPの取り組みの中間年にあたる2009年度であったが、前述のとおり、おおむね計画どおりの成果を出すことができた。利用実績としては、1階の全27ブースは年間を通じてほぼ満室状態を、2階の全6事務所は入退室なく満室を維持し、また貸会議室は第1四半期に新型インフルエンザの影響を受け売上が大幅に減少したものの下半期には挽回し、目標額を若干下回る推移で健闘した。財政面としては、一部修繕費積立金の取り崩しを行ったが、おおむね予算どおりの収支均衡を保つことができた（第9章で詳しく分析している）。

今後は、第2期ONPの運営方針をもとに、残りの2年間も精力的に取り組むとともに、第2期が終了する2011年度を見据えて、入居利用団体や関係者を交えてONP運営の自己評価と今後のあり方について検討を重ねていきたい。